

川の自然を再生



上の写真が改修前の上西郷川で、右の写真が改修後の上西郷川です。川本来の自然環境の再生と、人と川とのつながりの再生を目指として改修を行いました。自然が再生されただけではなく、洪水に対しても安全な川となっています。

ヤマトシマドショウ。絶滅危惧種。
上西郷川のシンボルフィッシュで
す。川の自然が生まれ息回体
数も増えています。



洪水調整池：洪水を防ぐために雨水を貯める池です。メダカなどの魚やトンボの仲間などを見ることができます。

木杭工：木杭の周りには、滝淵や木杭工の仲間などがあります。

木杭工：木杭の周りには、滝淵や木杭工の仲間などがあります。

木杭工：木杭の周りには、滝淵や木杭工の仲間などがあります。

多自然川づくりとは

多自然川づくりとは



西日本で
はじめて、

多自然川づくりとは、自然の営みを入れた河川管理のことです。洪水を防ぐことに加えて、自然環境、景観、地域の人々暮らしなどへの配慮をともに行なう点が特徴です。福津市では、「西郷川リバース基本計画」をつくり、「今つくろう、心に残るふるさとの川」を合言葉に西郷川流域の環境改善に取り組んでいます。上西郷川における多自然川づくりも、この一環として九州大学の島谷研究室と連携して取り組んでいます。上西郷川のようく、川のための空間を広く確保し、様々な自然再生の工夫を行った本格的な多自然川づくりは、西日本でははじめての取り組みです。今後は、川の自然がどのように回復していくか、地域の皆さんも一緒に見守っていただけたと幸いです。



巨石：石の周りは滝淵になっていて、ギンブナなど比較的大きな魚を見ることができます。

わんど：流れがほとんどなく、稚魚、オタマジャクシ、巻き貝の仲間などが生息しています。

川に横くスロープ：緩やかな傾斜のスロープでハリアフリーに水際に近くすることができます。

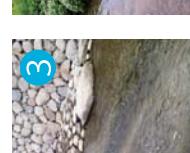
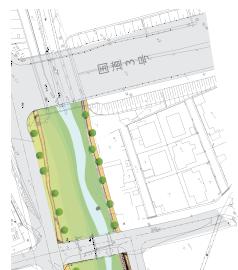
川づくりの話し合い



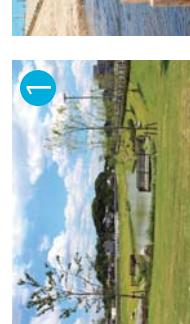
こどもたちの大好きな川



上西郷川は、地域の子どもたちの遊び場であると同時に、学習の場になっています。日本一の郷川（さとがわ）にするために子どもたちも色々なアイデアを出してくれています。



上西郷川のみどころ



木杭工：木杭の周りには、滝淵や泥が湧出しています。稚魚やエビの仲間などを見ることができます。

木杭工：木杭の周りには、滝淵や木杭工の仲間などがあります。

木杭工：木杭の周りには、滝淵や木杭工の仲間などがあります。

木杭工：木杭の周りには、滝淵や木杭工の仲間などがあります。

デザイン：九州大学流域システム工学研究室 / 施修：こまえ製作室・上西郷川日本一の郷川をめざす会